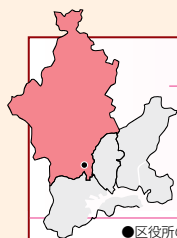


※人口は住民基本台帳による数（令和4年11月30日現在）



人口：295,405人 面積：450.70km<sup>2</sup>

■北区役所 〒700-8544 北区大供一丁目1-1(市役所本庁舎および分庁舎内)

## 北区 日本最大 総石張の取水堰「建部井堰」

●区役所の位置

農業用取水堰である建部井堰は、全長650m、巨石群と石組みでできており、旭川右岸から斜めに延びた堰が川の中央で途切れる「片持式」という非常に珍しい形をしています。当時、備前と美作の国境が川の中央であったため堰止めができず、流れに逆らわず水を多く取り入れる形になっています。



建設当時の記録は全く残っておらず、備前岡山藩により寛永5～7(1628～30)年前後に建設されたものともいわれています。

平成20年度から4年がかりで実施された「建部郷一の口井堰を守る会」と岡山大学の調査によって、建部井堰が、現存する日本最大の石造斜め堰で、現役でありながら江戸初期の姿を良好な状態で保っていることが明らかとなりました。平成24年には公益社団法人土木学会の選奨土木遺産に認定されました。

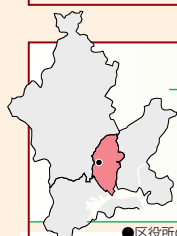
現在、たけべ八幡温泉にパネルを展示しています。北区公式インスタ

グラムにも載せていますので、下記QRコードからぜひご確認ください。



●問い合わせ

建部支所産業建設課  
☎086-722-1113



人口：147,101人 面積：51.24km<sup>2</sup>

■中区役所 〒703-8544 中区浜三丁目7-15

## 中区 安住院多宝塔～後楽園と調和する塔～

●区役所の位置

中区のほぼ中心部にある操山の、北西麓に位置する瓶井山禅光寺安住院。ここにある多宝塔は、総高20mある2層の塔で、市民からは「みかえりの塔」と呼ばれ、親しまれています。

安住院多宝塔は本来の宗教的な信仰の対象としてだけでなく、操山の山麓にたたずむ景観としても重要な役割を担っています。

江戸時代前期の元禄年間に、岡山藩主池田綱政が後楽園の借景を構成する塔として建築に取りかかり、次の藩主継政の時代に完成したといわれています。「借景」とは、庭園の

背後にある山や建築物を背景として、その庭園の中に溶け込ませる技法です。その景観を守り、維持するため、後楽園周辺と安住院がある操山周辺は、「後楽園風致地区」に定められています。



▲安住院多宝塔

また、安住院多宝塔は、昭和31年4月1日に岡山県重要文化財に指定されました。

季節によってさまざまな表情を見せてくれる後楽園からは、現在でも安住院多宝塔を望むことができます。



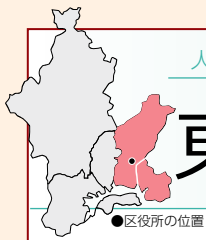
●問い合わせ

安住院  
☎086-272-2320

■各区役所への電話は、市役所代表番号からおつなぎします。

市役所代表

☎086-803-1000



人口：92,751人 面積：160.53km<sup>2</sup>

■東区役所 〒704-8555 東区西大寺南一丁目2-4

## 東区

### 地域ぐるみで健康づくりに取り組んでいます！ ～健康市民おかやま21（第2次）活動～

「全ての市民が健康で、心豊かに生きられるまち」を目指し、市では健康づくりの計画『健康市民おかやま21（第2次）』を策定。各地域で健康づくりの活動を実施しています。

東区では、「みんなでつくる東区の健康☆未来」をキャッチフレーズに、地域代表者や組織団体、医療福祉介護などの専門機関、行政などが連携し、活動しています。



新型コロナ対策で制限はありますが、「OKAYAMA！市民体操」や健康づくり教室、ウォーキング大会の開催など、創意工夫しながら、地域に根差した活動を推進中です。参加者からは、「気持ち良く体を動かすことができた」、「久しぶりにみんなと会えて良かった」と好評です。



人と人のつながりを大切にしながら、今後も取り組んでいきます。皆さんの参加をお待ちしています！

ご自宅でもぜひ「OKAYAMA！市民体操」にチャレンジしてみてください。



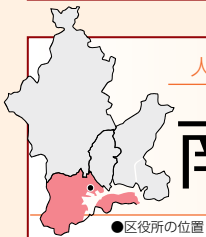
●問い合わせ

東区保健センター

☎086-943-3210



(市民体操 動画)



人口：167,027人 面積：127.48km<sup>2</sup>

■南区役所 〒702-8544 南区浦安南町495-5

## 南区

### じんむとうせん 児島湾に浮かぶ“高島”～『神武東遷』の伝承～

はるか昔「カムヤマトイワレビコ」が日向（宮崎県）を出立し東へ向かい、数々の困難を乗り越えて大和（奈良県）に至り、初めての天皇「神武天皇」になったという伝承があります。これを「神武東遷」といいます（神武東征ともいわれます）。

その東遷途上で、「吉備国の高島



あんぐう  
に行宮（一時的な宮殿）を置き、船と食料を整えた」とされていますが、南区宮浦沖にある“高島”はその行宮があったとされる伝承地の一つです。

高島は、高島神社が鎮座する周囲1km程度の島で、古代の祭祀遺跡や土器なども出土しています。現在は無人島となっており、通常時は島へ渡ることはできません。そのため、地元の清掃活動や秋祭りなどの行事の際以外は、海浴いにある遥拝所から海上にある高島を向いてお参りするようになっています。

「神武東遷」に関する伝承は、書物・インターネットなどでも取り上

げられていますので、ぜひ古代のロマンに触れてみてください。



●問い合わせ

児島地域センター

☎086-267-2231

光南台公民館

☎086-267-1255